

まちのたから 発見

わたむきホール虹に響くクラシックの音色

日野ウインドアンサンブル 町民会館わたむきホール虹



▲わたむきホール虹で演奏する日野ウインドアンサンブルの皆さん

●日野ウインドアンサンブル

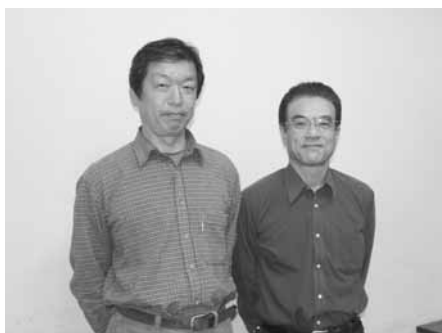
平成10年に創設された日野ウインドアンサンブル（登録者数53名）。吹奏楽の経験者が日野町文化祭に出場しようと声を掛け合ったのをきっかけに結成されました。現在、毎週金曜日の夜、西大路公民館で練習をされています。日野ウインドアンサンブルには、町内の方だけでなく、県内各地、京都府や三重県の方も参加されています。

県内の吹奏楽団が集まる「プラスフェスティバル」へ

の出場だけでなく、毎年、わたむきホール虹で開催されている定期演奏会（第13回は平成24年2月5日（日）に開催予定）や地域の夏祭り、氏郷まつりでの演奏など、地元の方々に聴いていただくことを大切に活動されています。

●「音楽のまち日野」をめざして

日野ウインドアンサンブルでトロンボーン奏者の若林正秀（わかばやし まさひこ）団長と、バスケットボール部委員長の山本芳孝（やまもと よしひこ）にお話を伺いました。



▲日野ウインドアンサンブルの若林団長（左）と山本運営委員長（右）

さまざまな楽器奏者が集い、「音と音が響き合う」ことで、一人では味わえないハーモニーを作り出せるところが素晴らしい」と若林団長。「楽しいから続けられます。友が友を呼び、現在町内外の団員が集まっています。ともに演奏し、観客に喜んでもらえることが喜びです」と山本運営委員長。

小中学生への指導も続けておられるお二人。これからの活動については、「子どものときから、音楽を楽しめる環境づくりが大切です。合唱と吹奏楽を合わせて『音楽のまち日野』と言われるようなまちなければ」とお話をいただきました。

●わたむきホール虹の魅力

平成5年1月に開館した「日野町民会館わたむきホール虹」は、空間を最大限に利用し、NHKエゾニアリングサービスの音響監修を得た大ホールがあり、音楽を聴くためには最適な環境が整っています。「音の返りがあり、やわらかくて、美しい響きがあります」と、若林団長と山本運営委員長も、その魅力を感じられています。その美しい響きは、「残響可変装置」があるからこそ得られるものです。

また、スタッフの温かさも魅力で、「演奏会するとき、スタッフの方がより良い環境を



▲大ホールにある「残響可変装置」。開閉することで、音の響きを調整

つくるため、親切に対応してくださいました」と話されていました。

昨年には、高度な需要に対応できる、新しいデジタル照明装置も整い、より多彩で魅力ある舞台演出が可能となりました。

●クラシック音楽を最大限に楽しむ

7月18日（月・祝）に「オーケストラ・ムジカ・チエレステ演奏会」が開催されます。2年に一度、県内外の音楽家たちがわたむきホール虹に集結し、楽しめるオーケストラの音色。当日は、「日野ウインドアンサンブルロビーコンサート」も開催され、管楽アンサンブルの温かい音色も楽しむことができます。

日野ウインドアンサンブルのチームワークで奏でられる心に響く音色。わたむきホール虹に響く美しい音色。皆さんもこれら「まちのたから」を体感してみませんか？